



vol.101

2026年  
5月31日  
発行

日本山岳会

# 「高尾の森」通信



— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人 165 名 法人 8 社  
(2026 年 4 月末現在)

新緑が柔らかな陽ざしを受けて輝き、森に明るい季節の気配が広がります。  
そして小さな芽生えが重なり合い、  
春の訪れをそっと知らせてくれます。



イロハモミジの花 (木下沢梅林前にて)



## アカテガニ

ベンケイガニ科アカテガニ属に属するアカテガニ種のカニで、  
成体の甲幅は約 3~4cm。  
本州から南西諸島で見られ、乾燥に強く陸上に適応しており、  
海岸・川辺の湿地や森林、土手などで生息している。  
文字通り手が赤いカニで、  
童話「さるかに合戦」のカニのモデルとなったとも言われている。  
絵：横川 信由

<https://jactakao.org/>





# 新たなツリーシェルターで挑む森づくり

2026春の植樹祭 2026.4.12(日)

フィールド担当 早川憲也

2015年以降途絶えていた植樹祭を再開した2022年の秋から2つの課題に悩まされてきました。

1. ツリーシェルターの設置作業が通常の植樹作業よりも2倍の時間がかかること。今までのツリーシェルターは構造が複雑で、設置方法も馴染みがないため正しく設置するのが難しく、試行錯誤を繰り返してきました。
2. ツリーシェルターの高さが135cm程度では、鹿が上からはみ出てきた部分をつまみ食いするため、苗木が135cm以上成長出来ないこと。

そこで2026年度は2つの課題を解決する新たなツリーシェルターを探すことから始め、色々調べた結果、高さが170cm以上

ある製品は①くわんたいII ②幼齡木ネット ③育小苗の3種類が見つかり、入手性とコストをクリアした「③育小苗」を採用しました。

更に、昨年までは午前中で作業を終了しベースに戻りお昼ご飯を食べていましたが、設置時間を確保するために今年は植栽地でお昼を食べることとしました。皆さんはキッチン班の料理を楽しみにしていたと思いますが、今回は我慢していただくことにしました。

当日は好天の中、植樹活動には一般と法人会員が31名、個人会員が29名の合計60名が参加し、200本用意した苗木のうち140本を植樹することができました。12時30分に作業を終え昼食のために滝ノ

沢林道まで上がると、そこにはベースに居るはずのキッチン班が豚汁とみかんを用意して待っていました。あきらめていたキッチン班の料理に植樹の疲れも忘れ楽しい昼食会となりました。そしてベースに留まった24名もザリクボ沢の散策や、木工作業、昼食時には豚汁を堪能し有意義な時間を過ごしていただいたことと思います。

最後に、当日植栽地で汗を流した皆様、ベースで活動した皆様、事前準備やサポートをしていただいた皆様のおかげで、無事開催することが出来たこと御礼申し上げます。

尚、残った苗木60本は日を改めて会員の手により植樹することになりました。



富士電機の皆さん



参加者	大人	子人	合計
一般	5名	—	5名
法人会員	32名	2名	34名
個人会員	45名	—	45名
合計	82名	2名	84名

2026年度 樹種		苗木本数
A班	ヤマザクラ	20本
	イタヤカエデ	20本
	オオモミジ	20本
	ヤマグリ	20本
	カツラ	20本
B班	ウワミズザクラ	20本
	カスミザクラ	20本
	イロハモミジ	20本
	コナラ	20本
	クヌギ	20本
合計		200本



2026年4月12日  
高尾の森づくりの会



令和7年度の募金事業  
【協賛先】は、森林整備中央交付金財団を  
実施します。 公益社団法人 国土緑化推進機構

この植樹祭は「公益社団法人国土緑化推進機構」の「緑の募金」から支援を受けて実施しています。

## 植樹祭に

# 植樹祭に参加して 知った、 森を「育む」大切さ

京王プラザホテル 杉浦陽子

春の柔らかな陽光に包まれた高尾の森で、二度目となる植樹祭に参加しました。植栽地へと続く道は、初心者にとっては左右の木につかまりながら登るような急斜面でしたが、上の方に咲く山桜の姿に励まされ、歩を進め現地へと到着しました。不慣れな傾斜地での作業は想像以上に大変でしたが、無事に終えたときには清々しい達成感がありました。

一方、ベース小屋からは滝の方まで足を延ばし、以前植えた苗木の成長や鹿による食害の状況を確認したり、木工体験をしたりと、有意義な時間を過ごすことができました。作業や散策の時間を通じ、森づくりは単に苗木を植えて終わりではなく、その後のたゆまぬ手入れの積み重ねがあって初めて、豊かな森が育つのだと、改めて気づかされました。

昨年度、環境配慮や社会貢献に関する賞をいくつかいただいたのですが、会への参画も評価の一つになったようで、まさに思わぬ副産物でした。社会貢献活動の一環としての法人会員への入会が思いがけない評価に結びついたことを、驚くとともにとても嬉しく思っています。

ホテル47階の「SKY PLAZA IBASHO」から望む高尾の山並みは、多くのお客様に愛されている景色です。実際に山を歩いた実感を胸に眺めると、窓越しの稜線が、以前よりどこか親しみ深い存在に思えます。都会のビル群の先に遠く望めるこの山並みがいつまでも変わらぬよう、これからも森の成長を見守っていきたいと思っています。



滝散策



ベースでの木工体験



## 参加して

# 多くの手で叶えた 植樹の喜び

丹治泰子

高尾の森づくりの会に入会して3度目となる「植樹祭」に、まだまだ微力ですがサポートとして参加させていただきました。今年は快晴に恵まれ、暑さが心配になるほどの一日となり、本当に嬉しい植樹祭となりました。というのも今回の植栽地は3年前から開墾を進めてきた場所で、急斜面で足場も悪く、植樹祭に至るまでの作業は決して楽ではなかったからです。月例の定例作業に参加するたびに、ここで本当に植樹ができるのだろうかと不安に思うこともありますが、みんなで力を合わせると作業が進んでいく、その感覚が私にとっても心地よく、続いている理由の一つになっています。

当日は法人会員の皆さまとともに、春の鳥のさえずりや桜吹雪の中を急登を経て稜線へ向かい作業を開始しました。砂利の多い土壌での植樹や、改良された苗木の保護ネットの設置は想像以上に大変でしたが、皆さまの手際の良さに助けられ、無事に終えることができました。作業後、稜線で振る舞われた豚汁と水でキンキンに冷えたみかんは格別で、植樹を終えた斜面を眺めながら、達成感とともに心に残る時間となりました。

この経験を通して、多くの方と力を合わせて森を育てていくことの大切さを改めて感じました。これからも関わり続けていきたいと思いますので、末永く宜しくお願い申し上げます。



植樹を終えて(植栽地にて)



豚汁 最高お〜ッ!



よお〜く冷えた  
みかん



# 多摩森林のクマ動向

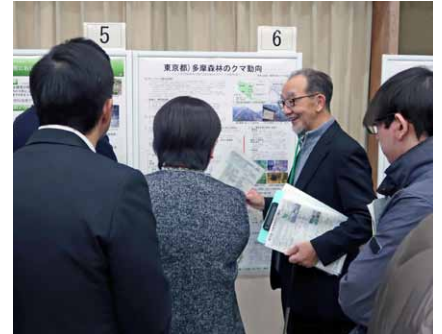
## 裏高尾森林のクマ出没状況

大森茂

2026年2月4、5日の2日間で関東森林管理局主催の「森林・林業技術等交流発表会」が開催され、高尾の森づくりの会として出席し、多摩森林区域におけるクマ動向について発表してきました。この技術交流発表会は、森林、林業の活性化と活動から課題解決に向けた技術の開発成果や取組みを発表し、ノウハウの共有や森づくりの仲間との交流を深める目的で実施されています。

発表は1都10県の森林署、関係団体からスライド・ポスターなど合わせて41件あり、参加者はオンライン含めて約500名。当会の発表に参加者から、「興味深い！映像に基づく状況のご報告、大変参考になりました」などの応援メッセージをいただきました。

以下に当会で発表した「多摩森林のクマ動向」の概要について報告いたします。



ポスター発表の様子

## 1. 多摩森林のクマ動向

森林は哺乳類（クマ、シカ、イノシシ等）の生息地であり、生態系の中核を担っています。2025年の多摩森林のクマ出没頭数、人身被害件数は前年比で問題のない状況でした。（表1参照）

- 自治体データは都環境局の申告値を使用して纏めています。
- 都環境局は個体数 235～350頭、生息密度 0.47 頭/km<sup>2</sup>と推定している。しかし、広葉樹林帯が放置され動物の棲み処となっているなど、個体数や生息密度はもう少し多いと想定されます。
- 他自治体や近県森林を跨いでのクマ行動が見受けられます。（八王子市で捕獲したクマが檜原村まで行動していた（GPS 情報））



### 1.1 多摩森林および他県のクマ出没状況とコメント

- ① 東京都：中山間地は居住域が増加、奥多摩はクマ生息地に变化無し
- ② 八王子市（当会協定地）：出没頭数は全てセンサーカメラでの映像監視による
- ③ 関東圏：近隣県（東京都含む）との森林繋がりで頭数調査に影響がある
- ④ 東北圏：クマ出没は前年比3.5～7倍、堅果は凶作 中山間地は離農が多く、廃屋、柿の木など残置が多い
- ⑤ 兵庫県：個体管理、生息頭数推定、適正生息頭数を超えた場合は捕獲により人身被害を抑制している

関東および他地域のクマ出没状況（表1）

地域	項目	出没件数（年別）			人身被害（年別）			堅果：ブナ類（年別）			堅果：ナラ類（年別）		
		2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025	2023	2024	2025
東京都	八王子市（内数）	7	6	22	0	0	0	—	—	—	—	△	△
	群馬県	715	978	1,085	4	4	12	—	△	■	—	△	■
他地域	埼玉県	144	108	120	0	1	0	—	—	—	—	—	—
	山梨県	172	315	242	2	2	2	△	—	—	△	—	—
	秋田県	3,723	1,340	9,852	70	11	68	■	◎	■	—	—	—
	岩手県	5,877	2,883	7,583	49	11	66	■	◎	■	—	—	—
兵庫県	524	1,128	439	0	2	1	■	—	—	—	—	—	
備考		2023年はクマ増加年						◎ 豊作、△ 並作、■ 凶作、— 不明					

関連情報出典：環境省、各自治体

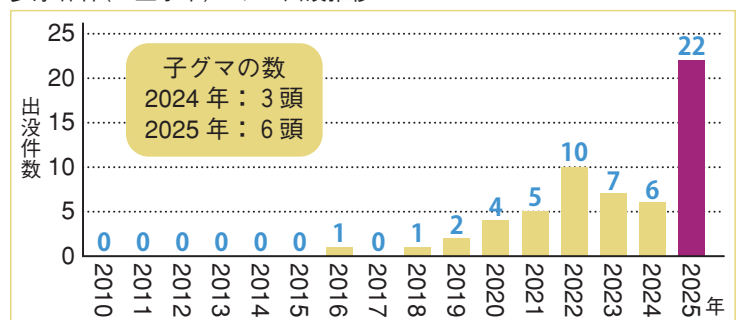
### 1.2 多摩森林（八王子市）のクマ出没状況

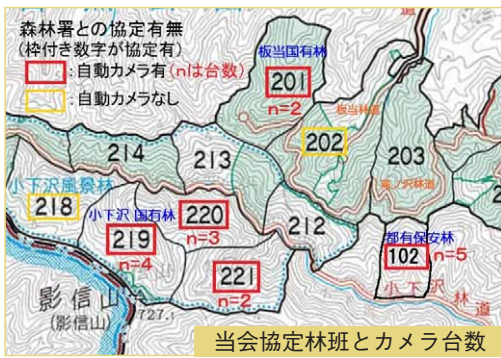
2016年に初めてクマを確認。その後徐々に増え続け、2025年には急増している。

2016～2025年の月別・時間別の集計によると

- 行動月：6-8月（85%分布幅）
- 行動時間帯：AM 4～7時（35%分布幅）、PM 4～8時（35%分布幅）

多摩森林（八王子市）のクマ出没推移





林班別クマ出没状況

項目	出没件数 (年別)							林班小計
	2016-2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
小下沢	219			1	4	1	3	9
	220	1		3	1	2	4	11
	221	2		1	2	1	2	5
板当	201	1	4	4	4	1	0	6
都有林	102					1	4	5
合計		4	4	5	10	7	6	22

## 2. 哺乳類(クマ含む) 調査情報の発信と情報共有

当会では活動エリアに16台のセンサーカメラを設置し、データを定期的に回収・集計し、その結果を行政機関、森林・環境管理局、イベント、展示会、普及教育、マスメディアなどに情報発信・共有しています。

### (1) 情報共有先 (20部門)

森林署関係・都環境局関連・大学研究者・ビジター関係・

鳥獣生態研究等

### (2) 映像の活用 (5部門)

599ミュージアム・八王子市環境フェスティバル・八王子市博物館・放送メディア等



センサーカメラ

## 3. 哺乳類調査の継続、継承、今後の課題

今後もこれまでの短期的な調査を継続するとともに、中長期の対応も実施していきたいと考えています。

### (1) クマ生息数調査：調査ノウハウ継承 (森林観察、個体識別、出現回数と頭数)

### (2) 堅果の定点観察 (ドングリ、ブナ等) の継続

### (3) 多摩森林区の自治体担当者とのクマ出没情報の意見交換

### (4) 政府方針対応：クマ被害対策施策パッケージ対応 (5年程度は必要)

●環境省が生息頭数の統一推定法と個体(群)管理を検討

●クマの生息分布、クマ個体識別手法の情報入手

## 4. クマに会ったら、どうする？ (関東森林管理局主催のセミナー「ツキノワグマを知ろう」より)

### まずはクマの生態を知る事

- クマ日常：冬眠明けの3月～、交尾期5末～8初、飽食期9末～11末
- クマ能力：時速50kmで走れる。嗅覚は数百m～1kmの臭い察知ができる
- 食べ物：堅果・液果、草花、昆虫、果樹・農作物、動物等の死体など

### 出会わない！ 呼び寄せない！

- クマに自分がいることを気づかせる (響く鈴、呼び子)、出会い頭に注意する
- クマが行動する早朝や夕方の時間帯に気をつける、沢

沿いに注意する

- 誘因物 (食べ物) は残ったら適切な処理をする

### 出会ったら

- クマが気付いてない場合：音を出さず静かに離れる、立木裏に隠れる
- クマが気付いている場合：静かに後退りして立去る (大声や走るのは厳禁)

### 襲われた時の防御姿勢

- うつ伏せになって顔と腹部を守り、首の後ろは手を回して保護する

## 東京農工大学 梶先生「高尾の森」来訪

代表 大塚哲生

2019年の総会にて「自然保護区のシカ管理」について特別講演をいただいた東京農工大学・梶光一名誉教授ご一行が、3月30日(木)に当会の活動エリアを視察されました。

梶先生からは、当会が植樹をはじめとする森づくりと並行して、野生動物の生息状況を継続的に調査し、その推移を

数値データや画像として定期的に関係部門へ発信している点について高い評価をいただきました。また、シカ個体数の増加が懸念されるとのご指摘もありました。

今後は、自動撮影カメラの設置位置の工夫や個体数推定の方法などについて、梶先生からご助言をいただく予定です。



# 2月活動日記

● 今年は関東を中心に異常少雨！ 例年、2月はだいたい雪の中の作業で、今回もベースはうっすら雪景色でしたが、板当の植栽地はカァ〜ラカラ!?

● 植樹祭を2か月後に控え、板当の植栽地では未だツルとの格闘！ チェーンソー隊に入ってもらったもののツルが絡んでいて木を切っても倒れず、作業は思うように進まず…。先が見えない。



下山後のお楽しみはベースで作られた焼き立ての焼き芋 **Good!**



チェーンソーでツル切り

お昼のひと時 **ホッ!**

昼食が終わると再びツルの中へ



## もくじ

2026 春の植樹祭	02
植樹祭に参加して	03
多摩森林のクマ動向	04
東京農工大学梶先生来訪	05
2月活動日記	06
3月活動日記	07
高尾の森と生き物たち展報告	07
4月活動日記	08
道具の棚卸し	08
高尾の森に棲む昆虫たち	09
東京マラソン完走の物語	10
新会員紹介	11
事務局からのお知らせ	12

# 3月活動日記

木下沢**梅林** ちょうど見ごろ

●板当での地拵え作業はだいぶ遅れ、1か月後に植樹ができるような状況でもない植栽地。ただど一方では植栽地の道づくり？道はできていても植栽地の整備は追いつきません。

●この時期スギ花粉のピーク！ほかほか陽気の日に花粉の発生源での作業は、花粉症の薬はまったく歯が立たず。鼻水は夜までとどまることを知らず、悲惨な一日でした。



久しぶりの登場、C班



板当植栽地、まだこんな状態



道づくりは順調に進んでますが…



花粉症の人は見たくない映像！



高尾の森産 採れたてシイタケ



下山後はオシャレなアサリ入りスープ

## 春の「高尾の森と生き物たち展」

小木曾裕子

3月23日から29日まで高尾599ミュージアムにて「高尾の森と生き物たち展」を開催しました。初日から春雨模様の日が多く来館者はまばらでしたが、金曜日から週末にかけては桜も見頃となったこともあり多くの方にお越しいただきました。今回は近隣の若いファミリー層や山好きの若者たちが目立ちました。お子様が積み木に夢中になっている間に親御さんに会の活動をパネルや木工品で紹介し、当会に興味を持っていただきました。動物映像は多くの来場者に興味深く視聴いただき、ミニ積み木は若者にも人気があり創意工夫に満ちた作品が誕生しました。



# 4月活動日記



新たなツリーシェルターの  
設置説明会



● 植樹祭前日の定例作業、地拵えはだいぶはしょった感がありますが、多くの皆さんの残業？で篠竹立てて木札を付けて、何とか植樹祭を迎えられそうです。

● ログソールって知ってますか？チェーンソーを使って丸太から板を作ったりする製材機で、そんな機械がこの会にあります。普段使っていないチェーンソーは、エンジンかけるのに一苦労。スターターロープを100回以上引いたでしょうか？おかげで肩が2日間筋肉痛でした。



苗木の本数チェック



これが **ログソール**

**板**ができました



## 道具の棚卸し

4月29日の祝日、毎年恒例の道具の棚卸しが行われました。すべての道具を一旦外に出し、ひとつひとつ点検、そして必要なものは整備を実施してスッキリ！多くの人の参加で、予定の作業は午前中に終了しました。皆さん、道具は大切に使いましょう。



棚卸しに参加した皆さん

# 高尾の森に棲む昆虫たち

連載 第5回



近年、外来性昆虫が話題になることがしばしばあります。外来性昆虫とは物や植物とともに持ち込まれたり、直接ヒトの手によって持ち込まれたりして侵入してしまった昆虫を指します。これらの外来性昆虫は厄介なものとして扱われがちですが、中には害をもたらす昆虫ではなく、「ただの虫」として扱われるものもいます。高尾の森には様々な昆虫が生息していると連載第1回でもお話ししましたが、様々な昆虫の中には実はこの外来性昆虫も含まれております。そこで今回は高尾の森に棲む外来性昆虫やそれに関連した昆虫たちを紹介したいと思います。

岡西宏之

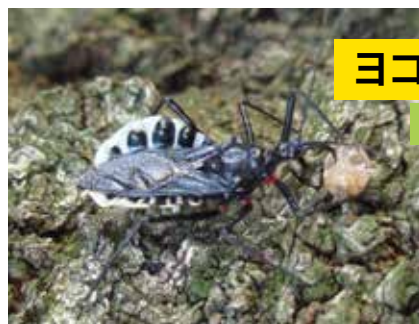


## アカボシゴマダラ

チョウ目タテハチョウ科

- 体長：40～53mm
- 出現時期：4～11月

白黒の翅（はね）に赤色の紋が目立つチョウ。奄美群島に生息する在来の亜種とは別に海外（中国大陸由来）から人為的に持ち込まれたと考えられている。特定外来生物と指定されており、生態系への影響が指摘されていることから、飼育や運搬等は禁止されている。



## ヨコヅナサシガメ

カメムシ目サシガメ科

- 体長：16～24mm
- 出現時期：4～9月

大型のサシガメで腹の縁にある白黒の模様が特徴的である。この白黒の模様が横綱の化粧まわしのように見えることからこの名がつけられている。肉食性であり、樹上の昆虫類などを捕食する。中国、東南アジア原産のカメムシである。



## ラミーカミキリ

コウチュウ目カミキリムシ科

- 体長：10～15mm
- 出現時期：5～7月

カラムシやムクゲなどの葉上にて葉柄や葉脈を食べる。特徴的な外見をしており、背中には水色～黄緑色で、中央に一對の紋様がある。ナンバンカラムシ（ラミー）とともに侵入したと考えられている。



## マメコガネ

コウチュウ目コガネムシ科

- 体長：9～13mm
- 出現時期：5～10月

イタドリやクズなどのマメ科植物やクリなどの花に集まる。本種は日本在来種であり外来性昆虫ではないが、逆にアメリカ大陸に侵入し問題になっている農業害虫である。植物の葉を食べるため、農作物に被害をもたらす、問題となっている。



## キマダラカメムシ

カメムシ目カメムシ科

- 体長：20～23mm
- 出現時期：4～11月

近年、日本国内でも急速に分布を拡大している。体は黄色い小点が散らばっている。東南アジア 原産の南方系のカメムシである。



参考文献  
槐 真史 . 2013, 日本の昆虫 14001 チョウ・バッタ・セミ . 文一総合出版 . 320pp.  
槐 真史 . 2013, 日本の昆虫 14002 トンボ・コウチュウ・ハチ . 文一総合出版 . 320pp

# 年齢を忘れたランナー

大島徹・櫻井美弦

東京マラソン  
2026  
完走の物語

2月末のとある朝、大島のもとに岡山県倉敷市の知人から一通のショートメッセージが届いた。「櫻井さん3/1の東京マラソンに出るらしいですよ」と。ええ〜!!マジ!? 櫻井さんと大島は高尾の森参加以前から仕事で何度かお会いして、倉敷の知人は櫻井さんが倉敷勤務だった時の大島との共通の知人だった。

そして3月1日本番当日。大島は応援に行かねばとテレビでマラソンのスタートを見てから電車に乗った方がいいが、櫻井さんがどのくらいのペースで走るのが知っているはずもなく、さてどこへ行ったらいいか? で、向かった先は「両国→清澄白河→増上寺→有楽町→丸の内」と。初めてのマラソン生観戦は、どこへ行っても途切れることないどこ

までも続く39,000人参加のランナー、それを応援する人達、給水のボランティア達、大東京での一大イベントに圧倒された。そんな中、当然櫻井さんに会えるはずもなく昼過ぎに自宅に戻ると、再び倉敷から「櫻井さん完走」のメッセージが届いた。

下記はアラ古希となり年齢も忘れてしまった櫻井さん本人による東京マラソンの記録である。

## マラソンのきっかけ

会社人生の第4コーナーに入った50歳の時高校卒業以来の同級会があり、同じ運動クラブだった友人が、共に同駅、同時刻発の電車で東京通勤をしていること知った。この友人からハーフマラソンに誘われ、15年前に初めて走ったのがマラソンの始まりである。以降、千葉県内を中心に14回のレースに参加し12回完走した。この間、友人は東京マラソンに何度も参加していて、いつも「応援がすごくて、楽しいぞーッ」と言っていて、いつしか私も応募するようになり、7回目にしてようやく今回の初当選となった。

## 東京マラソンまでの道のり

これまでの練習は、メニューや目標はなく気合と根性の練習だったが、今回東京マラソンに向けAIを利用した。目標は高く「サブ4」(フルマラソン4時間以内)とし、レース4ヶ月前の11月から練習を開始した。具体的なメニューが加わり俄然やる気が出てきた。しかしつついオーバーペースとなり、

とうとう1月末に足を痛めてしまった。残すところ、ひと月での回復調整をしながら何とかぎりぎりまで本番を迎えることができた。

## 3月1日本番当日

朝9:10、新宿都庁から39,000人のレースがスタート。目標時間ごとのグループが順番に並び、まずはスタートポイントを目指す。私があるJグループはスタートポイントに着くまで20分が経過。さあ、ここから「サブ4」の挑戦だ!!

スタートから25km迄は順調、しかし魔の30km手前からだんだんと足が上がらなくなり失速。足が止まり悔しいと思いな

がらも日本橋、銀座、有楽町、日比谷通りと名だたる大通りで途切れることのない応援を貰い、眺めのよい高層ビル群の谷間を進むうちに、やがて悔しさは消え、



スタート前の東京都庁

## レース目標と結果

区間	距離	タイム		状況
		目標	結果	
新宿～市ヶ谷	5km	30:00	32:05	○
～上野	10km	58:18	1:00:30	○
～水天宮	15km	1:26:05	1:29:03	○
～蔵前橋	20km	1:53:52	1:57:45	○
～清澄白河	25km	2:21:39	2:27:25	○→△
～日本橋浜町	30km	2:50:09	3:00:53	△→×
～日比谷内幸町	35km	3:18:39	3:46:46	×
(田町折返)同上	40km	3:46:39	4:35:53	×
～東京駅前	42.195km	3:59:00	4:57:57	×

晴ればれとした気持ちでいっぱいとなった。

ゴール直前、最後まで力と力を振り絞ってゴールに向かって全力疾走! 記録は4時間57分57秒だった。

## 東京マラソンを終えて

今回の練習～本番状況から、次回に向けた課題、練習方法を整理した。

### 【課題】

◆ハムストリングの強化 ◆長距離に耐える走力の底上げ

### 【追加練習】

◆坂道走 ◆階段昇降、スクワット等

次は11月8日(日)の「ちばアクアラインマラソン2026」にチャレンジする予定である。

## AIを利用した練習メニューと練習状況

	練習メニュー	練習状況
1	ジョギング: 準備・疲労取 6～7km、速度7～9km/h	○
2	インターバル走: スピード練習 1km×数本、最大速度12km/h	○
3	ビルドアップ走: スピード練習 10kmの中で段階的に速度を上げる (9→10.5km/h)	○
4	ペース走: レース感覚走 目標スピード10.5km/hで20km	○
5	LSD: Low Speed Distans 低速、長距離走 7～8.5km/hで20～30km走る	△ 足痛で 2月に不足



丸の内仲通りの櫻井さん

## 新 会員紹介

三浦史也です



### 高尾の森へ恩返し

普段から高尾周辺の山を歩くのが好きで、最近ではトレイルランニングにも挑戦しています。高尾の森づくりの会の拠点である小下沢も、よく走る場所のひとつです。この会には歩くだけでは分からない山の裏側を知り、高尾の森を支える側として関わってみたいと思い参加しました。

他の地域で登山道整備に参加した経験もあり、草刈りや道直しなど体を使う作業が好きです。まだまだ知らないことばかりですが、皆さんに教えていただきながら、山や作業について少しずつ学んでいけたらと思っています。将来的には、チェーンソー作業にも挑戦してみたいと考えています（もちろん安全第一で!）。

毎回、作業後にいただく軽食も楽しみのひとつで、おぜんざいは特に印象に残っています。無理のないペースで、長く関わっていけたら嬉しいです。今後とも、よろしくをお願いします。

鮎川優翔です



### 森づくり経験を未来の教室へ

皆様、はじめまして。このたび高尾の森づくりの会に入会いたしました、鮎川優翔と申します。友人の勧めをきっかけに昨年からはハイキングを始めました。幼いころから遠足や家族との思い出が多くある高尾山に、今度は自分が関わる形で少しでも力になりたいと考え、入会いたしました。この活動を通して得られる経験や、皆様からのお話を、将来教師になった際に生徒へ伝えていきたいと考えております。自然に親しむ機会の少ない生徒が多い現在、教室内だけでは学ぶことのできない知見や気づきを、自身の体験をもとに伝えていきたいと考えております。

森林活動の経験がまだ浅く、至らない点も多いかと思いますが、皆様から多くのことをご指導いただきながら、少しでも早くお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤梨々香です



### 高尾の自然に導かれて

この度、新しく入会させていただきました、佐藤と申します。趣味は絵を描くことと、自然のある場所を散歩することで、高尾山にもよく訪れていました。この会を知ったきっかけは、高尾山 599 ミュージアムを訪れたことです。ちょうど高尾森づくりの会の展示会が開催されており、高尾山の自然や生き物、自然の知恵が詰まったおもちゃなどを体験する中で、「自然についてもっと知りたい」という気持ちになりました。

ボランティア活動と聞くと不安もありましたが、皆さんが穏やかで優しく、さまざまなことを教えてください、安心して参加することができました。これから、自然と人との関わりの中で生まれる体験を大切にしながら、少しずつ学びを深めていきたいと思っています。

栗山彰男です



### My 二丁差しを手に再スタート

高尾の森づくりの会の皆様こんにちは。伊藤ハム米久ホールディングスの栗山です。今年6月に65歳になり会社をめでたく退職することになりましたので、今まで企業会員として参加しておりましたが、4月から個人会員として参加させていただくことになりました。

個人会員になったからには、まずは道具を自前にもにしようと思い、手始めに今まではお借りしていた二丁差しを購入しました。やる気だけは十分あるのですが身体がついてこなくなったのが少々気がかりではあります。結構長くこの会に参加しておりますが、経験と知識はまだまだありますので、ご鞭撻をいただきながらあと10年は頑張っていきたいと思っています。今後は定例だけでなく、種々の行事にも参加するつもりですのでどうぞよろしくお願いいたします。

活動記録

- 2/14 定例作業 (会員53名、法人1名、体験1名)
- 3/14 定例作業 (会員53名、法人2名、体験1名)
- 3/23-29 高尾599ミュージアム「高尾の森と生き物たち展」  
(来場者725名、会員延べ39名)
- 4/11 定例作業 (会員53名)
- 4/12 植樹祭 (会員45名、法人34名、一般5名)
- 4/19 京王親子森林体験スクール 1回目  
(親子31名、京王4名、会員24名)

会員動向

入会：ようこそ

栗山彰男さん、小林貞文さん、千野公弥さん

退会：お疲れ様でした

<個人会員>

小川一成さん、清水巖さん、茂木清さん、茂木洋子さん

<法人会員>

コニカミノルタ(株)さん

ベース小屋の奥から不思議なノコギリが

物置を整理していたら、初めて見る形のオオノコが出てきました。サクラの丸太を縦に切ってみたら、よく切れる！硬いサクラが見事にスライスできました。これは「窓鋸(まどのこ)」といって、チェーンソーが普及する前は林業の現場で主力として使われていたそうです。



高尾の森でムカシトンボ



4月は生きた化石のムカシトンボが羽化する時期だそうで。ベース小屋近くで貴重な瞬間に出会えるかも？

大塚代表の **チヨット** 活動で見つけたいい話

2026年度は運営メンバーの交代期を迎えます。旧年度の活動を支えてくださった皆様に、心より御礼申し上げます。また、新しい体制での活動をより良いものにしていくため、引き続き多くの皆様のご支援・ご協力をお願いします。

活動実績と予定

- 5/9 定例作業
- 5/9,10 第35回 みどりの感謝祭 (高尾599ミュージアム)
- 5/17 京王親子森林体験スクール 2回目
- 6/7 京王親子森林体験スクール 3回目
- 6/13 定例作業
- 6/14 八王子市環境フェスティバル (東京たま未来メッセ)
- 6/21 2026年 総会 (東京たま未来メッセ)
- 7/11 定例作業

幹事会報告

(詳細はホームページ会員専用ページを参照ください)

◆ 2月

- 協議事項 植樹祭実施要綱、緑の募金一般公募事業への補助金申請について、他
- 報告事項 救急救命講習会の予定、森林管理事務所訪問、HP委員会、他

◆ 3月

- 協議事項 植樹祭の詳細、2026年度予算編成について、他
- 報告事項 2026年次総会の議案書編集、事故対策強化・マニュアル化案、他

◆ 4月

- 協議事項 植樹祭内容、京王親子スクールの計画について、他
- 報告事項 緑の募金一般公募事業応募申請状況、総会議案書執筆依頼、各活動状況、他

編集後記



会報誌のデータ配信第1号！という今風ですが、特に年

配の方々は会報誌が少し遠のいたでしょうか？多くの方に見ていただけることを期待します。ところで、例年ゴールデンウィーク(GW)は春山に欠かさず行っていたのですが、今年はとうとう途切れてしまいました。無計画のGW、おかげで？毎日この編集作業で部屋に籠りきり。まあ、今年のGWは天気が今ひとつでしたので、もう少ししたらどこかへ出かけようと思います。[大島徹]

